

近況報告・いま思うこと 令和8年3月

植原重克 68

♡いま思うこと♡

ウクライナ、ガザ悩まし。些少の年金生活はさて。同性婚・夫婦別性は思いもしなかった政治課題。この度NHKBS（日本縦断ころたび）田中美佐子さんにレクチャーしました。安曇追分駅から東山すその花見（けみ）神社までチャリ子さん完走を余生を近隣で送りながらお待ちしていますと。

菜にこめて冷暖こらるる歳重ね

機に咲きほこれ虫草（むしくさ）の声 81歳（31文字）

チャボのコールユーブンゲンで出来なかったあの時ハーモニカで信濃の国、早春賦、高校歌、応援歌などやります。 老いの道楽、早々

（欄外文 省略）

大久保寿麿 79

横浜市の郊外に住んで半世紀、当初はそれ程かんじませんでした。年々松本が遠くなるようかんじます。来年は墓参を兼ねて帰省してみようと思っています。

岡村廣正 85

腰痛のため、歩けなくなりました。苦勞しています。リハビリ、リハビリ、です。

小口朋子 91

あきつ会スタッフの皆様本当にありがとうございます。卒業以来六十数年父母の興した会社一筋に歩んできました。そう時を置かず新しい道を歩むことへの不安は日々まわりついてきます。普を考えると心が疲れます。・・・でももともと深く悩めるタイプでもなく朋子とつけてもらった故か、お友達は様々にいて下さる。目は今一つでも口は達者、リュウマチで動かない関節はたたあれども動かせる部位も結構ある。差引きをプラスとするかマイナスとするかは全て私の気持ち次第なら大らかに清々で行きましょうと思いつつも・・・?!同期の皆様くれぐれもおいといの程お祈り申し上げます。

金岩博司 107

肺ヘルニア修復術始末の一席

昨年末咳が激しく、人とアの会話も出来ないくらいでした。飛び込んだ耳鼻咽喉科の検査では「喉も気管支もきれいなものです」と言われました。この時、右胸の上部に膨らみ見つかり、咳の度に膨らんだり、弛んだりしていました。胃や心臓の病歴をきかれ、3年

前に心臓弁膜症（大動脈弁閉鎖不全症）を病んだといたら、「それだ」といって信大病院の心臓外科へ紹介状を書いてもらいました。心臓外科から呼吸器外科に回され、「右前胸壁 肺ヘルニア」と診断されました。弁膜症の手術のときの小さなキズに肺がはみ出してしまったようです。治療法はとの説明に肋骨の外へはみ出した肺を戻し、人口のメッシュ（胸壁パッチ）を固定する。基本的には外科的に手術する（肺ヘルニア修復術・胸壁パッチ再建）ことといわれ、まれにバストバンドによる胸壁圧迫で治る事もあるとのことで、手術の日程が込んでいたこともあり、暫く様子を観ることにしました。二週間たっても症状の改善は見え、結局手術をすることになりましたが、1月半ばの診断から2か月後の3月25日が手術日と決まりました。緊急性の問題（命に係わらないからか？）でかなり後回しにされたようです。この間、あきつ会月例会1月、2月、3月と3回ありましたが、回を追うごとに重くなり、2月の時には発言しようとするだけで、咳きこんでしまい袖山さんから、「金岩はしゃべれなくていい」と沈黙を言い渡されるくらいでした。おかげさまで、3月31日無事退院できました。なんとか、普通に会話もできるようになりました。これからもよろしくご支援お願いします。

久保寺 勲 138

昨年末の田村正勝さんの急逝に大変驚き、心を痛めております。

昨年 of 首都圏あきつ会 of スピーチで、AI の急速発展と量子コンピューター活用がもたらす情報の洪水に人間の頭脳が追随できずに強大な権力を手にした少数の指導者による暴走が始まり、世界各地に飛び火すると予言しました。

年明け早々にトランプ政権による危険な暴発がスタートしました。この事件に水を得たりと習近平による台湾進攻も時間の問題かも知れません。

この様に極めて危うい人類世界の先行きを見届けるまでは、死ねないと思い、今年 is 昨年以上に健康に留意しようと決意しました。

神波康夫 143

元気にくらしています。再度、皆様にお会いできる機会があればと思っています。

小松永泰 155

昨年 of 11月頃 テレビで「沈まぬ太陽」(山崎豊子著) of ドラマが再放送されていました。ご存知かとおもいますが、有名な航空会社 of 労働組合がストライキを行い主導した書記長が永く外地にとばされ、その後御巢鷹山 of 航空機事故 of 遺族との補償交渉に心痛の思いで対応するという物語です。(私のいた会社 of 社員も3名亡くなっています。) この作家 of 小説は他にも「大地の子」「白い巨塔」「華麗なる一族」「ふたつの祖国」等、単行本で4~5冊 of シリーズになっています。多くの映画、テレビにドラマ化されています。綿

密な調査と考えられないドラマ展開で、この作家の気迫が感じられます。

事が起こったときに人は各々どのような行動をとるかよく描かれています。

読書なりDVDを見るなりお勧めします。

自分は今まで何をしてきたのかなと自省の日々です。

小松泰彦 159

畏友、故田村正勝君卒後 60 年誌「エピキュロスは言った。私が神だったら青春を人生の最後に以てきただろう（正しくはA.フランスの言葉：小松）」。「カザルスは 80 歳で最後のチェロ弟子 20 歳の絶世の美女と結婚したよな、よし！！俺も“と思ったところで鼻から提灯がパッチン、目が覚めた。昨年 12 月 26 日、田村君の骨をひろった。”やりきったよ！“と言っているような死に顔だった。

小宮正久 162

齢・81。脳の働き、からだの動きにこの年齢をつくづく感じております。良い気持ちで人生を全う出来る様、日々を事無く過ごす様に務めるつもりで居ります。しかし乍ら煩悩の固まりの様な、ゴルフは、生涯続ける積もりです。

島利栄子 180

令和7年12月21日に主人が急逝し、いまだ茫然自失の毎日です。深志の仲間に励まして頂いていること、嬉しく、感謝しています。ホームページを拝見しますので、郵送は結構です。

鳥羽郁夫 237

仕事先の関西から蟻ヶ崎済の実家に戻って間もなく20年を迎える。生まれて母校卒業まで住んだ実家は昭和4年建築だがまだ健在で今は古民家風、大きな台風や地震にも耐えて頑張ってくれている。広い縁側や床の間、さすがに今の暮らしには不要だが、利用価値はあるようで、後輩のグループが仲間とそば会や飲み会を開いたりしている。

母校まで徒歩5分、これ程近いのに私は自転車で通学していた。恐らく買ってもらったばかりの自転車が珍しく、下校時に校門から南の坂道を下るスピード感覚が魅力だったのだろうか。今でも母校北にあるスーパーの買い物帰りに校門前を車で通る度に当時の記憶が蘇る。我が家の周囲、全て住民が入れ替わり遂に最古の住民となってしまった。隣には洒落た喫茶店、母校訪問の際にはお寄りください。

新村東美 262

幹事の皆様ありがとうございます。御座います。小生お手伝いできなくて申し訳ありません。今は体力の衰えと戦っております。令和8年が良い年である事をねがっております。

野村 瑞子 266

みなさま その後お元気ですか！！

この年になっても、あきつ会の通信が 金岩さんのご尽力かもあって、絶えることなく届き、とってもうれしくおもいます。

私は、78歳までの仕事を終え、今は自適に日々の生活を「元気に」「平凡に」と心がけています。精一杯られないようきねんして、毎日を

毎日、夕陽がしずむのをみながら、烏（カラス）が100羽以上団体や個で寝ぐらに帰るのを数えながら、ベランダを往復ウォーキングするのが、とても楽しい日課です。

あしもとには 鉢植えながら、椿（ツバキの青い花）やローズマリーの青い花、そして水仙のスノーフレイクが先、春が近づいているなど感じます。

世界はウクライナ、イランへと戦争が拡大し、暗い世相ですが、民主主義や世界平和が失われないよう祈念して毎日を精一杯生きて行こうと思っています。

2026年3月14日

野村 瑞子

林 昂子 274

年齢を重ねると色々おもいがけないことが、おこります。このたび私の体に思いも寄らない事実が判明したのです。13年前右腎に癌が見つかり右腎全摘出しました。10年間CTで経過観察をし、3年前に10経って異常なしとのことで、受診必要なしといわれ、腎癌のことは忘れてました。昨年11月にたった1日しかも1回だけ血尿を認め、念のため泌尿器科を受診、腎臓癌の所見はないといわれましたが、しばらくして泌尿器科DrよりTelがあり、右肺壁に小さな（12.5ミリ）のしこりがみつかったので、呼吸器外科を受診するようにいわれ、3/2右肺の部分切除のopeを受けました。結果、まさかと思ったのですが、驚いたことに13年前の腎癌による転移性肺癌でしたとつげられました。切除してしまったのであとは抗がん剤etcの治療はなく、しばらく泌尿器科でのフォローをとられました。術前より、Drから許可がでていたので、4/6から2泊3日で奈良吉野山のひとめ千両の山桜を観る旅を楽しみに、準備中です。7人の子孫娘連の結婚進学も楽しみのひとつですが、映画「ほどなくお別れです。」をみて2年前夫を見送り一人暮らしとなった私、次は自分がの覚悟をと思うこのごろです。

林 政弘 275 25/2/18

頭はサントリーのオメガエイトをのんでいるが、全然きかない。物忘れがおおいので、すぐ忘れる。生きているのが良いと思っています。

原 宏實 277

はじめての心カテ（心臓カテーテル）検査を受けました

12月20日朝6時半過ぎの犬の散歩の途中で、急にみぞおちの辺りからこみあげる様な違和感を感じると共に急激な脱力感で地べたに崩れこんでしまった。意識はしっかり覚醒していた。柴犬を飼い始めておよそ10年、犬の散歩を兼ねて朝早く2キロ、夕方1.5キロを歩いた。長目のリードに繋がれた犬が戻って来て私の様子を覗いていた。道路の端に寄って10分ほど休んでいると、みぞおち周辺の違和感や脱力感も無く、脚の踏ん張りも大丈夫で、意識もしっかりしていたので、残りの約800mを普通に歩いて帰宅した。若干の疲れを感じたが、普通に朝食を済ませて、いつもの生活パターンの生活に移った。

12月21日は雨模様の天気散歩は中止。

12月22日、いつもの様に6時半に犬と一緒に家を出て200m位歩いた所で、またみぞおちの違和感と急激な脱力感に見舞われ、「あまた来た」と思い近くのガードレールに身体を預けた。やはり意識はしっかりしていた。20日の午後、15回あきつ会首都圏会員の方から、届いた、20日朝急逝した田村さんのことが頭に浮かんだ。田村さんは同じ高綱中学から1960年4月入学した同窓生であった。前回と同じように10分ほど休んでいると脱力感が消えたので、ガードレールに両手を置き、ストレッチで四股の踏ん張りを確認して犬に用をさせて帰宅した。

午睡を済ませた後に、近くに住む娘からLINEが「田村さんのことがあるから、必ず主治医のところへ行って診てもらおうように」と強く伝えてきました。自宅から4キロほど離れた糖尿病の主治医のM内科医院へ自分で車を運転して行き、診察を受けた。心電図検査の跡、先生の間診があり、20日と22日朝の状況を伝えた。「症状が良くないので、紹介状を書きますからすぐに相澤病院の救急外来に行って診察を受ける様に」と指示があった。自宅に戻り、娘の運転で相沢病院の救急外来に行き、心電図、X線、超音波検査を受けて、循環器科のS先生から症状についての説明を受けた。「心臓の動きが悪く、半分ほどしか働いていません。心不全です。このままですと心筋梗塞か狭心症になる可能性があるので、直ぐに手続きをして入院してください」娘に準備をしてもらい、ICU病棟に入院した。夜10時半を過ぎていた。点滴2種、心電図モニター、血圧測定等々の管やリード線が身体に繋がれ、ベットの上であまり動けない状態が続き、しっかり眠ることができなかった。

24日に心臓カテーテル検査を行うことになり、検査作業の行程説明を受け、検査同意書のサインを、行ったりしましたが、しっかり眠ることが出来ないまま24日午後1時を

謡唱歌の会を一つ担当しています。合唱団は 2026 年で結成 20 周年になり、記念演奏会を予定しているほか、5 月にはカナダの合唱団とのコラボ演奏があり、今から体調を整え選曲等に心を砕いています。

農業は、コメ作りと野菜作りを楽しんでいます。「作物は人の足音を聞いて育つ」とも言われ、てを加えたことに応えてくれる事を知ると、育てることに喜びを得て楽しさが増すのがいいですね。みっちり音楽に浸った後、無性に農業に関わりたくなるのが、不思議でも気分転換でもあります。

地域の仕事は、年齢順で回ってくるものはほとんど終わりましたので、これ以降は家順で回ってくる隣組長（緊急対応委員も兼ねる）やいくつかある地域内の当番をこなしていきます。区から意図的に外れない限り必ず回ってくるので、これをこなすにはそれなりの体力が必要です。これら三つを楽しみながら元気に過ごしたいと思っています。

長い間、「あきつ会通信」をお送り下さり有難うございました。今後はパソコンメールでみなさまの状況を知って参ります。

輪湖郷史 417

僕の家（足立区）11階のベランダには各種のサボテンがあり、年1階程度赤、白、黄色の花が1日だけ、同時に咲きます。それが不思議です。

長男なので、旧梓川村の奥にある実家に何回か帰省して家・畑（太陽光発電設備・そば畑）の管理（除草など）をやっています。太陽系の中でそれ程大きくない地球は、大量の海水・陸地・地中のマグマなどで非常に重いのに宇宙に浮かんでいる。地軸の傾きが23度、24時間で自転、365日で公転、太陽と月と一定の距離を保ち、いつまでも規則正しく動いている。万有引力によるものかもしれませんが、何か、天文学で説明できない神の力が働いているような神秘性を感じる毎日です。

迎えた。車椅子でカテーテル検査室へ向かいドアを開けると、20人位のスタッフが待機しており、促されて検査台のベットに載りました。右腕と右手首を拘束され、手首に局部麻酔をして、カテーテルの先端が挿入されていきました。先生と何人かのスタッフが作業をしている気配は感じましたが、詳細は観ることが出来なかった。「はいお疲れさまでした。終わりましたよ」といわれ拘束を外されベットから降りて、車椅子で部屋にもどった。約45分間。暫くして私と妻と娘の3人でカテーテル検査画像を見ながら検査結果の説明を聞いた。「心筋梗塞や、狭心症の症状は見られませんでした。心臓に水がたくさん溜まっていて活動が弱くなっていました。心包水腫とおもわれ、薬とリハビリで治療して行きましょう。早期発見、早期治療が出来てよかったですね。要因は今回の場合、加齢、遺伝性も含めた体質、持病の糖尿病、酒などの生活習慣が考えられる。」とのことでした。リハビリと投薬の継続を指示され、年内の12月30日に退院できました。

田村さんありがとう。あなたのことが無ければ、暫くなにも対応・対処しないままほっておき、早期診療を受けないで最悪の事態を招いたかと思います。

謹んで田村さんのご冥福をお祈りいたします。

樋口明朗 283

小生、2024年12月に「間質性肺炎憎悪+インフルエンザA」にて入院、なんとか年末ギリギリに退院したものの2025年は今日(12/25)に至っても在宅酸素療法で療養生活を続けています。途中2月末には肺炎治療のためのステロイド“薬の副作用で骨が極端に弱まっていたための腰椎圧迫骨折があり、激痛期間は過ぎたものの後遺症の腰痛は今に至っても続いており、2つの疾患との闘病中というのが近況です。

上記ではありますが、基本的には「元気」です。2026年もよろしくおねがいします。

(小生、歳で、字を書くと手が震えて絵になってしまい、スマホでキーをたたく法が少しはましなので、こんなかたちで失礼します。)

牧田英捻 323

最近はおカリナに凝り、ネットで弾きたい曲の楽譜をダウンロードし、30曲程楽譜なしで弾けるようになり、楽しんでます。深志の校歌も、意外に簡単に弾けるようになりました。

三原壽雄 350

近況を書きます。現在音楽・農業・地域の仕事の三面で生活しています。

音楽では、「安曇野混声合唱団」という安曇野市内唯一の混声合唱団(約35名程)と童